

メンター会で行った内容を紹介していきたいと思います。
今回は、「学級活動」と「水泳指導」についてです。

☆学級活動について☆

生徒指導・特別活動担当の白石先生がメンターとなり、昨年度の生徒指導の推進と合わせて、学級活動について話をしてくれました。

生徒指導の三機能（自己存在感を与える、共感的な人間関係を育成する、自己決定の場を与える）や生徒指導担当者会で参考になった実践を紹介してくれました。その1つに、学級会の中でどの児童の意見も大切にされる「折り合う方法」を取り入れた話し合いの進め方です。児童の意見から「合体案」「盛り合わせ型」「優先順位型」「条件付き賛成」の4つの方法で折り合いをつけながら決定していくそうです。

また全体でも共有し、それぞれの学級会で取り入れていってもいいですね。



学級活動の目標

新学習指導要領より P.43

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

西土佐小学校でも、昨年度から話し合いの進め方を統一（出し合う⇒比べる⇒まとめる⇒実行する）して、学級会を行っています。

実行するで終わらず、**振り返り**までさせていきたいですね。

☆水泳指導について☆

教頭先生がメンターとなり、水泳の指導が始まる前に、事前の準備や留意事項等について話をしてくださいました。まずは安全第一であり、きまりは確実に守らせること、児童の健康をチェックし、水泳を休む場合には、保護者から連絡をもらうなど確認をしました。

また、体育主任も参加してくれていたため具体的な指導においては、到達目標を持たせて学習していくことも確認することができました。



実際に、水泳指導をして…

- 児童の体調管理を把握するために、保護者に連絡帳に書いてもらうことを事前に指導することができた。
- 水泳のきまりの徹底や水なれなど流れを確認しながら取り組むことができた。

メンターとなってお話くださった教頭先生、白石先生、ありがとうございました。